

令和5年度 青少年育成地域懇話会

専門家の講話を基に、地域の青少年育成関係者と住民の方々との意見交換を通して、子ども達を取り巻く問題について理解を深めました。今年度は新十津川町と美瑛町に協力をいただき開催しました。

新十津川町 「ネット社会と子どもの成長」

～親、子どもたちに関わる大人たちみんなで考えよう～

- ◆日時・場所 令和5年11月14日（火）・新十津川町総合健康福祉センター
- ◆共催 新十津川町青少年健全育成町民会議 新十津川町教育委員会
- ◆講話 講話 講話 「ネット利用と子どもたちの望ましい生活習慣について」
～子どもの心とからだを育てるために大切なこと～
講師 子どもとメディア北海道 副代表 中谷 通恵 氏



◆講話概要

- 小学低学年までは、目を合わせ意思疎通がとれる遊び、読み聞かせなど言語の遊び、五感を使ったり、汗をかく遊びが成長には重要。
- 中学生になると仲間外れになりたくない、承認欲求が強くなるなど同調意識が強くなる。そのような段階でスマホを持たせることについては、良い活用の仕方を示したり我が家のルールをしっかりと考えるなど大人の工夫が重要。
- 体験活動をすることで、心の健康や精神的回復力が高まる。家庭や地域でもネットに替わるリアルな社会体験の場が子どもの成長には必要。

◆意見交流 コーディネーター 北海道教育庁空知教育局教育支援課 是安 聡一郎 氏

- 地域全体で、ネットから離れ、リアルな体験活動も必要だと感じた。
- 子どもが勉強や読書をしているそばで、最低限大人がゲームをすることは慎むべき。
- ネット利用について家庭・学校・地域全体でルールを決め、それをまず大人が守り、その姿を子どもに伝えることや、親が情報モラルの学習をすることが重要である。



美瑛町 「すべての子どもを地域で守り育てる予防教育」

- ◆日時・場所 令和5年11月29日（水）・美瑛町町民センター
- ◆共催・後援 美瑛町青少年健全育成協議会・美瑛町教育委員会
- ◆講話 講話 「わたし」が「和足し」を育てるまち～時代のニーズにあわせた人づくり」
講師 美瑛町教育委員会管理課参事 目良 久美 氏



◆講話概要

- 当町では、子ども一人ひとりに将来考えられる様々な困難について、個々のニーズに応じた支援や指導を行う「予防教育」に取り組んでいる。成長に合わせて「ことばの教室」「そだちの教室」「すだちの教室」を設け、学習の状況や悩みなどを保護者や支援者、学校担任の間で情報共有している。
- 子どもが何が苦手なのかを自分で理解することが始まり。そこから自分流の対処法を考え、周囲がそれを支援することで、子どもの自立に繋がっていく。
- ひとりの「わたし」が隣の「わたし」を見つけると「和」が生まれ、「和」を「足し合わせる」と「絆」ができる。「助けて」と声をあげたら「いいよ」と応えてくれる、そんな人を想う気持ちが溢れるまちになることを願っている。

◆意見交流 コーディネーター 北海道教育庁上川教育局教育支援課 石川 究 氏

- 美瑛町では地域住民が講師となり、様々な教室や研修会でお話をしている。こういう地域住民のエネルギーをどんどん使っていくとよい。
- どの活動でも、子どもを一人ひとり認めていく、褒めていくことが大事である。そして子どもと一緒に考える、やってみる、失敗と一緒に体験してあげる事が大切。
- 子どもの成長や学びをみんなが共有していくことで、横の連携が出来る、様々な情報を共有することが、町のためにも、子どものためにもなる。

